

空飛ぶクルマに関する香川版官民協議会（第4回）

# 空飛ぶクルマ商用運航に向けた取組み

2026年3月18日

株式会社Soracle

(Xはじめました：@SCL\_official\_JP)



*Soracle*

---

eVTOL(空飛ぶクルマ)の特性を活かした新しい空のインフラを構築し、既存の輸送方法では対応できない**社会課題解決**を図り、**経済的価値創造**を行います。

2024年6月、日本航空と住友商事により共同設立(折半出資、CEO(住商)・COO(JAL)出向)

日本初の空飛ぶクルマ航空運送事業会社を目指し、両社と連携して推進

## 社会的価値創造

### eVTOLの特性

電動

自動

垂直離着陸

### eVTOLへの期待

低環境負荷

低コスト

未利用空域活用  
(街なか・離島・遠隔地)

### 身近で新しい空の移動価値の創造

脱炭素貢献・労働力不足対応・多様なアクセス構築  
地域経済発展・緊急医療迅速化・災害対応強化

## 経済的価値創造



eVTOL(空飛ぶクルマ)の特性を活かした新しい空のインフラを構築し、既存の輸送方法では対応できない**社会課題解決**を図り、**経済的価値創造**を行います。

## エアタクシー

### 身近で新しい移動方法へ

都市の高層ビルを結ぶルートや、空港・主要駅とのアクセス手段として、圧倒的に早く・快適な空の移動を実現します。

## 観光・レジャー

### 移動そのものを観光体験に変える

海や山、歴史的な街並みなど、地上からは味わえない特別な景色を空から楽しむ遊覧飛行や快適な移動で、観光に新たな付加価値をもたらします。



## 医療・救急

### 命をつなぐ空のルート

救急搬送の迅速化や、山間部・離島など救急車が到達しづらい場所へのアクセス改善においても、空飛ぶクルマは力を発揮します。より柔軟で効率的な医療搬送体制の構築を検討します。

## 災害時の支援

### 道なき被災地へ空からアクセス

地震や台風などで道路が寸断された際にも、空飛ぶクルマは上空から人命救助や物資輸送を担うことができます。復旧活動や支援のスピードを高め、災害時の対応力向上を目指します。

# Soracleが目指す展開ステップ



Phase 1  
2025-27

## ●準備・市場参入期

25年万博デモンストレーション・26年度大阪試験飛行を実施し、eVTOLへの社会受容性向上を図る  
機体型式証明/運送事業許可取得後、eVTOL運航先駆者となりアーリーアダプター取込みと制度設計への関与を図る

Phase 2  
2027-29

## ●市場形成期

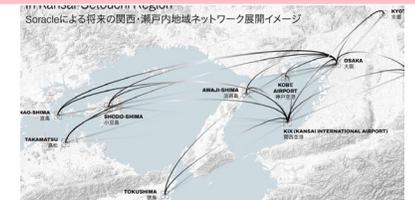
関西・瀬戸内海地方展開・東京都プロジェクト参加  
デベロッパー・自治体等と連携し、需要の高い地点で既存ヘリポートに加えVertiport路線開発を図る



Phase 3  
2029-30

## ●市場成長期

関西・瀬戸内海地域のネットワーク拡充、関東地方初期展開  
機体の量産に伴う価格低下による、収益力強化



Phase 4  
2031-

## ●更なる拡大

地域ネットワークモデルの更なる拡充、無操縦者航空機による無人都市内エアタクシーの実現  
住友商事・JALの強みを生かした海外展開



## 展開準備

2025年



大阪・関西万博

Future Sky Experience

5,500名以上のお客様へ体験型展示  
そらクルーズ 未来の空の旅を表現

大阪府 様・大阪市 様との連携協定

2026年度



大阪府市域内 実証フライト

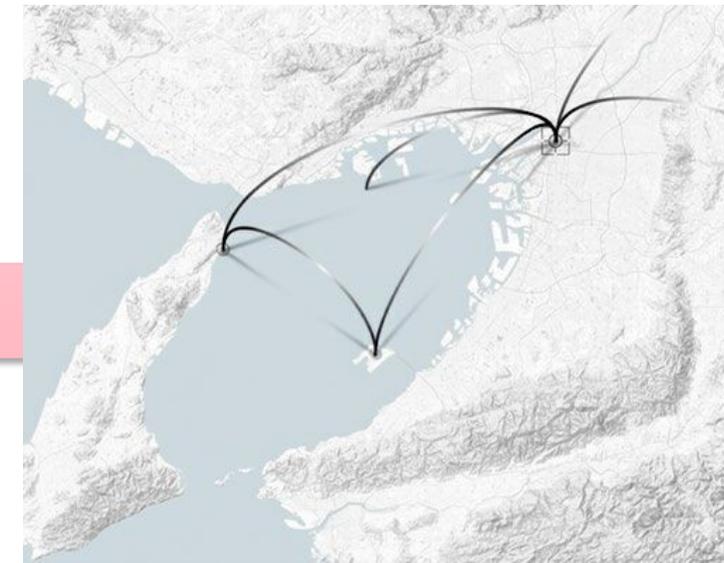
機体運用検証

輸送・充電知見の蓄積

ユースケース検証

航空局への航空運送事業許可取得に向けた申請  
Archer社によるJCAB 型式証明申請

2027年以降



\*「大阪」は初期フェーズ湾岸エリアを想定

航空運送事業許可 ご承認(弊社希望)  
Archer社機体への型式証明 ご承認(弊社希望)

2027年度下期以降 運航開始

大阪・関西に実装  
初期フェーズ 湾岸エリア  
遊覧運航・二地点間運航

## Soracle、米Archer社と戦略的關係構築に向けた基本合意書を締結

Soracleは、米Archer社と戦略的關係構築に向けた基本合意書を締結、**eVTOLの商用運航実現に向けた協業**の検討を開始することに合意。

Archer社との基本合意書には同社が開発・製造するeVTOL "Midnight"の最大100機の**購入権取得**を含んでおり、eVTOL社会実装の早期実現に向けた準備を加速して参ります。



## 大阪・関西万博および その後の社会実装に向けた取り組みについて

大阪・関西万博でArcher社Midnightをアジア・日本で初めて  
実寸大モデル機体・試験飛行映像・将来運航イメージを展示。

【イベント名】 Future Sky Experience  
【期間】 2025年7月8日～15日  
【期間】 EXPO Vertiport / 格納庫



**8日間**で**5,514名**のお客様が来場・体験  
「空飛ぶクルマ」に対する関心度の高さ  
社会受容性 向上に寄与





## 2025年9月10日 連携協定締結

- (1) 関西地域の空飛ぶクルマの運航ネットワーク形成に関する事項
- (2) 空飛ぶクルマ関連ビジネスのワンストップ型展開支援に関する事項
- (3) 救急医療、災害時における支援等に関する事項
- (4) その他、この協定の目的に資する事項



(左から) 吉村洋文大阪府知事、日本航空 宮坂久美子西日本支社長、Soracle 佐々木敏宏代表取締役、同 太田幸宏代表取締役、住友商事 高島恭一郎関西支社副支社長、横山英幸大阪市長

# 2026年3月8日～3月25日まで 大阪港VPイベント



- ・令和7年度 空飛ぶクルマ観光ビジネス創出支援事業
- ・イマーシブシアター「そらクルーズ」を大阪港バーティポートに開設、期間中5,000名以上の来訪を予定（予約 満員御礼）



## ■ 2026年3月7日 Osaka Metroさまとの基本合意書の締結(運航拠点)



- ・大阪港VPを運航拠点として活用したサービス開始を目指し、必要となる施設・設備を共同検討
- ・社会受容性向上施策においても連携したイベントの共同開催を検討

## ■ 2026年3月16日公表 小川航空さまとの賃貸借契約の締結(整備基地)



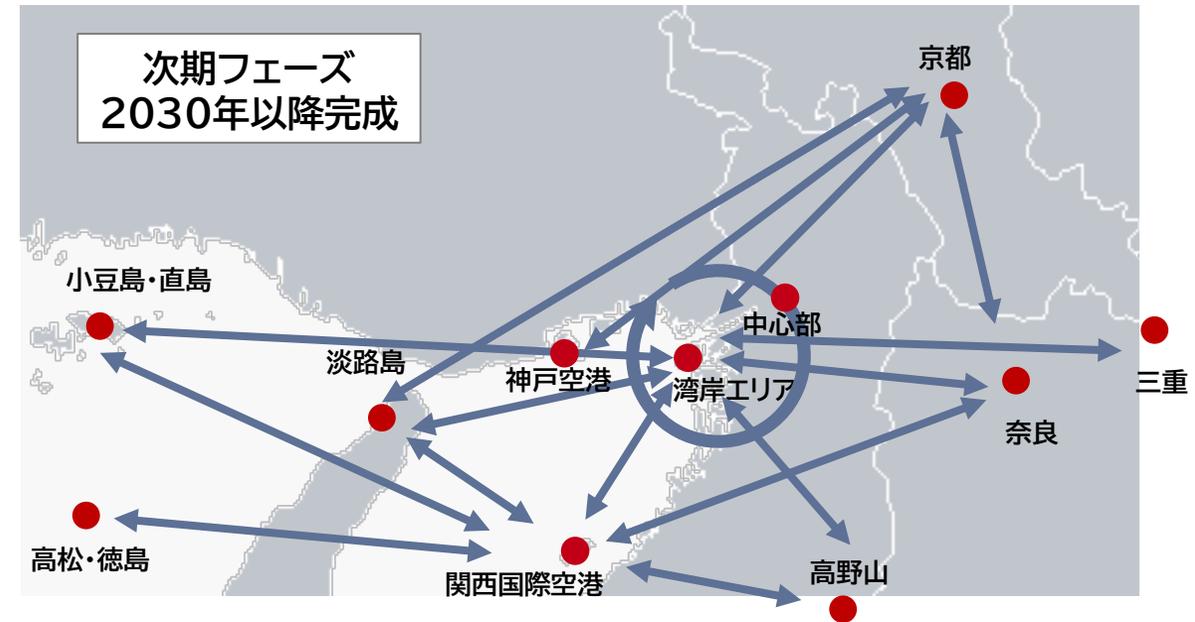
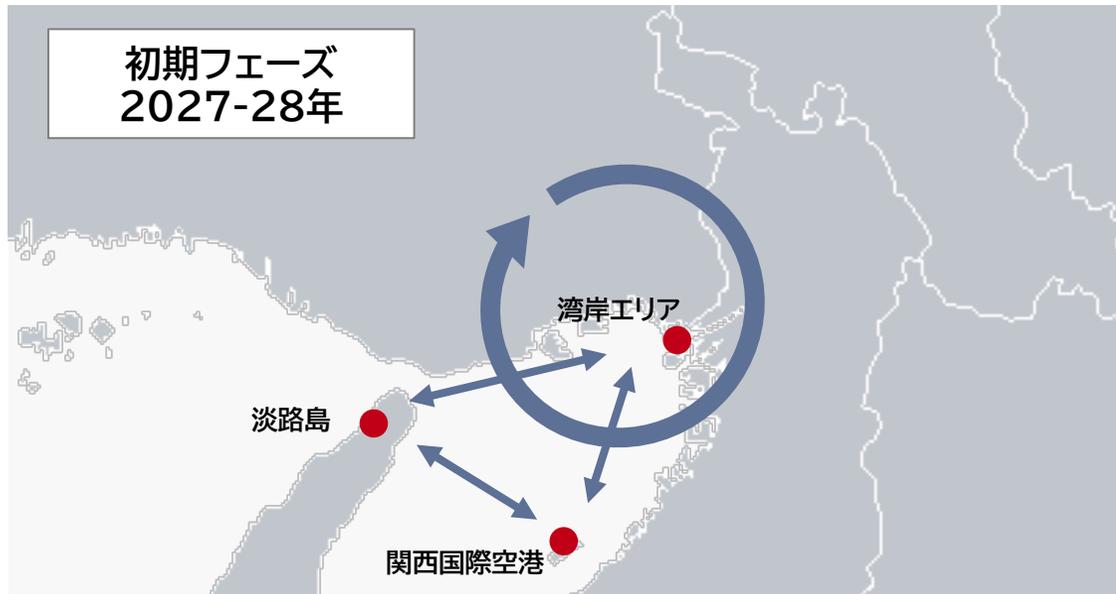
- ・大阪ヘリポートを商用運航開始時の整備基地として活用していくことを前提に契約を締結
- ・安全かつ安定したサービス提供を支える基地として、実績のある施設の活用が目途

# Soracleが目指す展開ステップ | 拡大フェーズ



## 展開イメージ

2027年以降のサービス提供開始を目指し、湾岸エリアから遊覧運航に加え、2地点間運航を徐々に拡大。  
空飛ぶクルマの全国でも先行した実装を行うとともに、結果として**来訪者増加**、**地域経済発展**、**雇用創出**につなげたい。



展開  
イメージ

- ①湾岸エリア・淡路島・関西空港 トライアングル運航
- ②湾岸エリア・淡路島 など 観光遊覧

関西空港/神戸空港 ⇔ 湾岸エリア 直行便・中心部・地域主要地点  
湾岸エリア・主要地点 ⇔ 地域主要地点

※地域主要地点:大阪中心部・京都・奈良・淡路島・小豆島・直島・高野山・四国・三重